

■ 外研社·供高等学校日语专业使用

新经典日本語

高级教程 第一册

精解与同步练习册

总主编 / 刘利国 宫 伟
主 编 / 刘 艳 李 燕 于 飞
大越喜美子(日)
小林奈津子(日)

にほんご



外语教学与研究出版社

新经典日语

高级教程 第一册

精解与同步练习册

总主编 / 刘利国 宫 伟

主 编 / 刘 艳 李 燕 于 飞

编 者 / 大越喜美子(日) 小林奈津子(日)
李 燕 刘 艳

大越喜美子(日) 小林奈津子(日)
藤野麻一(日) 吕秋霞 杨丝宇

外语教学与研究出版社

北京



图书在版编目 (CIP) 数据

新经典日本语高级教程第一册精解与同步练习册 / 刘艳等主编 ; 于飞等编. — 北京 : 外语教学与研究出版社, 2016.8

(新经典日本语 / 刘利国, 宫伟总主编)

ISBN 978-7-5135-7987-2

I. ①新… II. ①刘… ②于… III. ①日语—高等学校—习题集 IV. ①H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2016) 第 206565 号

出版人 蔡剑峰
项目策划 彭冬林 杜红坡
责任编辑 刘宜欣
装帧设计 新佳禾书装
出版发行 外语教学与研究出版社
社 址 北京市西三环北路 19 号 (100089)
网 址 <http://www.fltrp.com>
印 刷 北京联兴盛业印刷股份有限公司
开 本 787 × 1092 1/16
印 张 12
版 次 2016 年 8 月第 1 版 2016 年 8 月第 1 次印刷
书 号 ISBN 978-7-5135-7987-2
定 价 36.00 元

购书咨询: (010) 88819926 电子邮箱: club@fltrp.com

外研书店: <https://waiyants.tmall.com>

凡印刷、装订质量问题, 请联系我社印制部

联系电话: (010) 61207896 电子邮箱: zhijian@fltrp.com

凡侵权、盗版书籍线索, 请联系我社法律事务部

举报电话: (010) 88817519 电子邮箱: banquan@fltrp.com

法律顾问: 立方律师事务所 刘旭东律师

中咨律师事务所 殷 斌律师

物料号: 279870001

前言

近年来，随着日语专业在全国各大高校的扩展，日语教学的整体水平和教学质量也在不断提高。高等院校外语专业教学指导委员会日语组重新修订了《高等院校日语专业高年级阶段教学大纲》，把教学重点从掌握单一的日语语言知识提升到提高综合语言技能和交际技能的层面，并强化了“学以致用”的教学理念。为了适应大学日语教学发展的新形势，进一步提高教学质量，日语专业本科教学质量国家标准进一步提出了“日语专业学生应具备日语运用能力、文学赏析能力、跨文化交流能力、思辨与创新能力、一定的研究能力、自主学习能力和实践能力”的具体要求。

大连外国语大学日本语学院本着科学严谨的态度和“与时俱进、勇于创新”的精神，由中日两国长期从事日语教育的一线教师共同努力，继系列教材《新经典日本语基础教程》之后，历时近两年，又编写了这套新理念、功能型的大学日语教材——《新经典日本语高级教程》。

为了帮助学习者理解和巩固《新经典日本语高级教程》中每一课的相关词汇、语法和课文，《新经典日本语高级教程第一册精解与同步练习册》一书从编写上设计了以下两个板块。

第一板块是关于课文中的问题和课后思考题的解答与解说。此部分主要由几位日本资深国语老师负责编写，他们有着多年的国语教学经验。这些问题的解说、解答部分不仅是给出问题的答案，更多的是引导学习者学会如何用日语去思考问题、解读文章。每一题的答案都分为解答、解说、补充说明三个部分。解答部分直接针对问题作答；解说部分的内容主要是帮助学生正确理解题目，学会正确的答题方式，继而用正确、简洁的语言作答；补充说明部分是相关问题的扩展，这部分可以帮助学生更加深入地思考问题，从整体上理解作者的写作意图和写作思想。

在第二板块中，编者设计了七道题，其中一到三题为词汇练习。此部分的题目紧密结合课文内容，从课文中选择重点、常用的词汇编写而成，主要是针对学生常常脱离语言环境来记忆单词的问题而设计的。学习者做此部分练习时可以结合课文内容来进行单词记忆，在使用时也容易联想到此词的语言环境，从而达到真正理解和掌握外语的学习目的。第四题为综合选择题，题目的类型主要包括助词、副词、助动词、接续词、敬语、交际日语、重点日语句型等方



面的内容。这些问题既有课文中出现过的词汇和语法,也有相关单词、句型的扩展。问题的难度主要在新日本语能力考试N2以上,N2内容40%,N1内容60%左右。这样的难度设计也是编者从多年的日语教学实践出发,在帮助日语学习者巩固基础阶段的语法点的同时,激发日语学习者更加深入学习日语的兴趣和动力。第五题为翻译练习,编者选取的句子均来自于课文,基本上都是句式较复杂、内容较重要的句子。通过翻译这些句子,可以帮助学生理解课文内容,提高日语的实践能力。第六题和第七题是阅读练习,阅读部分主要有两个特点:一是所选内容尽量贴近课文内容,是课文的扩展阅读,这有助于学生去了解不同的作者对同一或相近主题的看法,从而养成从多个角度看问题的习惯;二是题目的设计和新日本语能力考试的阅读题相似,这有助于学生走出能够读懂文章却无解题能力的怪圈。

本书在编写时虽然力求准确,但由于学识和经验所限,难免存在疏漏和不足之处,恳请各位同仁和专家指正。

《新经典日本语高级教程第一册精解与同步练习册》编写组

2016年7月

使用说明

① 設問

問1 ボランティアとは、どのような人だと筆者は述べているか、本文から抜き出して答えなさい。

答え 新しい価値を発見し、それを授けてもらう人。

解説 ボランティアを定義している文を探せば良い。概念の定義は、「○○は～だ」「△△とは、～である」という表現が一般約である。

補足 筆者は『ボランティア—もうひとつの情報社会—』（岩波書店）のなかで、ボランティアとは、「切実さを以て問題にかかわり、つながりをつけようと自ら動くことによって新しい価値を発見する人」、「何らかの困難を抱えている人を前にしたとき、その人の問題を自分から切り離すのではなく、その人の問題は、ある意味で自分の問題でもあるという結びつきを見て取るという事態へのかかわり方をしたうえで、その状況の改善に向けてネットワークを作っていくネットワークカーである」と定義している。また、問題にかかわっていく中では、「つながりをつけようという相手と自分の関係を、直接的な利害関係とか、組織のなかの上下関係とか、年下年上とかなどという平面で切り取るのではなく、すべての可能性を潜在的に含んでいる「球体として」捉えるという事が必要だ」（『同』）と筆者は述べ、国籍や人種、性別、境遇などの共通項がなくとも、自分自身も広い意味ではその問題の一部として存在している、言い換えればその問題に対して被害者でもあり加害者でもあるという立場から、自分の判断で自ら行動する人である、とも指摘している。



学習者が参考这部分内容的时候，一定要阅读完正文内容，并且要在对相关问题有了自己的思考以后，再参考答案。回答问题时要力求简洁准确，然后通过解说部分去了解用日语回答问题的方式。补充说明部分是为了帮助学习者从文章整体上来思考问题而编写的扩展练习。

② 段落ごとの要点をまとめてみよう。

まとめ例

第1段落（ボランティアって～不安になってしまう）

ボランティアには、「偉い、感心だ」と好意的な人もいれば、「変わった人だ」と皮肉に思う人も、反発して「偽善的だ」と感じる人もいる。「偽善的だ」と言われると、ボランティア自身は、自分がしていることが「見返り」を求めない「尊い」行為だという自信はないため、不安になってしまう。

第2段落（私は～授けてもらう人なのだ）

私はボランティアが行動するのは、ある種の「報酬」を求めてであるからに違いないと考える。ボランティアにとっての「報酬」とは、経済的なものだけとは限らない。自分が「価値がある」と思い、しかも、それを自分一人で得たのではなく、誰か他の人の力によって与えられたと感じる、「与えられた価値あるもの」である。ボランティアは、この広い意味での「報酬」を期待して行動している。その意味でボランティアは、新しい価値を発見し、それを授けてもらう人だと言える。



段落大意的归纳要求学习者在理解整篇文章内容以后，对文章进行段落划分，并能从每部分提取出关键信息，并用日语准确地表达出来。由于各人对文章的理解可能存在不同，此处段落划分的答案仅作参考。

③ テーマ：筆者の主張を捉えよう。

- ボランティアが行動する理由は何であると筆者は考えているか。本文の主旨を踏まえて、説明しなさい。

答え ボランティアの力と相手の力の相互関係の中で見つける新しい価値を、誰かから「報酬」として受け取るため。

解説 筆者は、第3段落で「ボランティアが行動するのはある種の『報酬』を求めてであるからにちがいない」という想定しており、その直接の解答は第5段落の「ボランティアはこの広い意味での『報酬』を期待して、つまり、その人それぞれにとって、自分が価値ありと思えるものを誰かから与えられることを期待して、行動するのである」にある。ただし、ここでは、本文の主旨を踏まえてとあるので、ボランティアが受け取る「報酬」としての価値あるものがどのようにして発見されるのか、についても触れる必要がある。《学習の手引き》参照。



文章主题の概括和段落大意的归纳相似，都是考查学习者的理解和归纳能力。但不同的是，文章主题的概括要求学习者把作者通过文章表达的重点思想用比较简短的文字归纳出来，可以说是段落大意归纳的进一步深化。

④ 空欄を埋めながら、本文の要旨を理解しよう。

矢印と文字では、矢印の方に目が行きやすい。これは、(① 表現要素)として図形の方が文字よりも(② 情報訴求力)があるからだ。しかし、情報の内容によってはその(③ 逆)もあり得る。中でも「矢印」はとても強い訴えかけの力を持っている。さまざまな情報の要素には(④ 力関係)が生じており、それらの要素をうまく使うことで、たくさんの情報を(⑤ スムーズ)に送ることができる。どんな要素が現実的に効果的なかを判断するのは意外と楽しいものだ。(196字)

解説 各段落の要約を参考にすること。



这部分内容主要是帮助学习者学会提炼课文中的关键词，通过对关键词的理解和把握来进一步加深对全文中心思想的理解，并通过这种模式重新理解和概括文章内容。

1 次の下線部の漢字にふりがなをつけてください。

- ① これは、広告などの企画会議で煮詰まった時に、息抜きに紙に描いて、みんなに見せたりするものです。
- ② 矢印が放つ不思議な磁石のような力がみなさんの眼差しを右の方にもっていかうように感じませんか。
- ③ このことは、表現要素として矢印という図形は文字よりも情報訴求力があるということを示しています。
- ④ 〈図形〉対〈文字〉以外にも、この情報の訴えかけの力の強弱は、当然存在します。

2 次の下線部の平仮名を漢字に直してください。

- ① この図形は、何の説明もなくばくぜんと見せると、「正十一角形」と思う人も多いのですが、実際は正九角形でふたつもちょうてんが足りません。
- ② この図を見ると、目が図形の方からすぐに下の文字にうつっていくのが、みなさんもたいげんできると思います。
- ③ この図は、今までの絵にやじるしを一本くわえたのものです。
- ④ このように、どんなメディアにおいても、さまざまな情報のようそに力関係がしようじます。



此部分的主要目的在于考查学习者对课文中重点、常用词汇的汉字表记及读音的掌握情况。学习者应该在完成课文内容的学习以后，利用此部分来练习和巩固重点词汇。由于日语中同音异形字很多，学习者一定要注意结合课文内容来书写这些词汇的汉字，同时注意日语汉字和中文汉字之间的区别。而在汉字读音的书写过程中需要注意的重点是日语中的促音、拨音、长音等特殊音节。

3

次の①～②の文の____の言葉の意味と最も近い意味で使われているものを、A～Dからそれぞれ一つ選びなさい。

- ① はるか…つまり、図⑤で付け加えられた「矢印」は、図④で方向を決定していた「鼻の向き」よりもはるかに力が強い。
- A. ここからはるかな山を望む。
 B. 予想していたよりはるかに多い人数が集まった。
 C. 異郷からはるかな思いを寄せる。
 D. これははるか昔のことだ。



此部分的练习重点是培养学习者掌握日语词汇一词多义的特点，并养成结合具体句子掌握词汇的学习习惯。建议学习者在进行这部分练习时，能够勤查辞典，多记例句，努力掌握一个词在不同语言环境中的意义，并学会使用相关词汇的搭配方式。

4

①～⑤の____に入る最適な語句を、A～Dからそれぞれ一つ選びなさい。

- ① 一日中やっても1匹もつれなかったから、もう魚つり_____いきたくない。
 A なんか B なんと C なんて D なのに
- ② 勉強中、眠くて_____ときは、濃いお茶を飲むといい。
 A なんでもない B ちがいない C ほかならない D しょうがない
- ③ テーブルの上においた読み_____の小説を姉がかたづけてしまった。
 A つつ B かけ C ながら D ちゅう
- ④ 田中さんの持ち込んだもうけ話は、どうも_____です。
 A うそがち B うそぎみ C うそつき D うそっぽい
- ⑤ 今日は時間がありません。あいさつは_____さっそく会議を始めましょう。
 A 抜きにして B 抜きながら C 抜いても D 抜きつつ
- ⑥ 風呂の水を_____出かけてしまった。
 A だしにして B だしっぱなしにして
 C だしつつ D だしおいて



此部分的练习重点在于促使学习者灵活运用已学过的语法知识，理解这些语法的使用特点，融会贯通，把知识点穿成线、连成面，从而掌握比较系统的日语语法体系。

5 次の文を中国語に訳してください。

- ① 別の言い方をすると、いくら左を見ようとしても、矢印が放つ不思議な磁石のような力がみなさんの眼差しを右の方にもっていかうとしようとするように感じませんか。
- ② このことは、表現要素として矢印という図形は文字よりも情報訴求力があるということを示しています。
- ③ つまり、図⑤で付け加えられた「矢印」は、図④で方向を決定していた「鼻の向き」よりもはるかに力が強く、なんとその力は、我々に対して強引にそのような勝手な解釈をつけさせてまでこの絵をそう見させているのです。
- ④ この場合、図形の情報を読みとるのが面倒で、文字情報を読みとる方が楽なのでそれだけで済ましてしまうからです。
- ⑤ 図形や写真や文字や音などの要素をうまく使うことでたくさんの情報をスムーズに送ることもできますし、その逆も言えます。



此部分的练习要求学习者在翻译句子前要学习完整篇课文，切忌因只单一地解读某一个句子，而造成片面理解。此外，翻译时要注意分析句子结构以及句子之间的关系。

6

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えはA・B・C・Dの中から最適なものを一つ選びなさい。

総体的にみて、日本人ほど情報をすんなり受け入れて、気安く自分のものに同化してしまう民族も少ないと思います。その情報の一般化と、(①) の日本化は、他に例を見ません。戦後のあの熱狂的なアメリカ文化とデモクラシー^(註1)の摂取は、今の中年以上の人々はトクダラア、ズレ田、ハオオ

7

次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、後の問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最適なものを一つ選びなさい。

テレビと新聞

ニュースは新聞だけではなくテレビで知ることができます。

じゃあ、新聞なんか読まなくても、テレビを見ればいいじゃないか。そのほうが楽だし早いじゃないか。そんなふうに考える人もいるかもしれません。でもやはり、ぼくは新聞をよんでほしいと思います。新聞には、テレビにないよさがあると思うからです。

テレビというのは、映像と音が組み合わさっています。見る側は、目とか耳とかの感覚を働かせることになります。テレビの前に座っていると、感覚に訴える要素が次々にあらわれ、次々に消え、移っていくわけです。①これはテレビの特色ですが、同時に欠陥でもあります。



毎課の二篇阅读理解都和课文正文内容有一定的关系，学习者可以通过这种方式从多个角度理解课文正文部分的内容，同时还可检验自己对相关问题的理解和解决问题的能力。

目次

第一課	情報の力関係	1
	解答・解説	2
	練習問題	10
第二課	「迷う」力のすばらしさ	17
	解答・解説	18
	練習問題	25
第三課	ボランティアの「報酬」	33
	解答・解説	34
	練習問題	44
第四課	どんな人になりたかったか	51
	解答・解説	52
	練習問題	59
第五課	言語は色眼鏡である	67
	解答・解説	68
	練習問題	74
第六課	身体の想像力	81
	解答・解説	82
	練習問題	88

第七課	「平等」と「対等」	95
	解答・解説	96
	練習問題	102
第八課	友情の杯	111
	解答・解説	112
	練習問題	122
第九課	愛されすぎた白鳥	129
	解答・解説	130
	練習問題	138
第十課	鞆	145
	解答・解説	146
	練習問題	155
	練習問題解答	163



第一課

情報力の関係



解答・解説

≡ 《学習のポイント》 ≡

1. 図①を、広告などの企画会議で煮詰まった時に、みんなに見せることで、筆者が狙っている効果とはなんだろうか。

答え例 図形と文字の情報訴求力の差を利用して錯覚を起こさせることで、行き詰まってしまった思考の目先を変え、気分転換をする効果。

解説 本文に、「煮詰まった時に、息抜きに紙に描いて」とあることから考える。

2. 〈図形〉対〈文字〉や〈絵〉対〈図形〉の例以外に情報の訴えかけの強弱の例を考えてみよう。

答え例 〈記号〉or〈図形〉対〈色〉、〈色〉対〈文字〉 …等。

解説 トイレの男女を表す記号（下の画像A～C参照）などは、わかりやすい例。Aは色のない記号だけ。Bは男を青、女は赤で色分けされている。より男女の別がわかりやすい。CはBと男女の色が逆の場合。これだと、男女のトイレを間違える可能性がかなりある。その下（図D・E）は、ひらがなの「あか」（図D）と「あお」（図E）で、文字と色が逆の例。これも、一瞬文字よりも色の方に注意が向いてしまう、〈文字〉よりも〈色〉の方が情報の訴えかけの力が強いことがわかる。



図A



図B



図C

あか

図D

あお

図E

補足 色の他、本文中には音や写真などの例も挙がっているので、それらの表現要素の場合も考えることができるはず。身の回りの例で探してみるのも良い。

3. 各段落に、内容に見合う小見出しをつけてみよう。

答え例 1段落＝文字よりも図形の方が情報訴求力がある場合の具体例。

2段落＝図形よりも文字の方が情報訴求力がある場合の具体例。

3段落＝描かれた絵の量によって、情報の訴えかけの力の強弱が変わることの具体例。

4段落＝絵に加えられた矢印によって、絵の解釈が全く変わってしまうという具体例。

5段落＝さまざまな情報の要素には、力関係があり、それをうまく使うことが大切。

解説 ここでの小見出しは、内容がわかるように、ある程度の長さがある方が良い。単語ではなく、段落の内容を1文で要約するように指示すると良い。

補足 内容説明的な小見出しをつけることで、本文全体の論理構成（本文の構造）をつかむ事ができる。ここでは、第1段落から第4段落までは、それぞれの要素（図形や絵や文字）が持つ情報訴求力は、その表現しようとする内容や組み合わせ方によって変化することの具体例を挙げている。そして第5段落はそれらをまとめて、筆者の主張に結びつける、という構成になっていることを確認する。

4. 図①と図②、図③～⑤は、何を説明するための具体例か。本文の言葉を使って説明してみよう。

答え例 どんなメディアにおいても、さまざまな情報の要素には力関係が生じるということ。

解説 最後の段落で「このように」とあるのに注目する。「このように」は、前の文をまとめて説明する接続語。図①から図⑤までの具体例から分析された事柄を、この最後の段落でまとめ、結論づけている。「何を」と質問されているので、「～こと」という答え方をする。

補足 この文章全体の構成を考え、図①から図⑤までの具体例を端的にまとめている部分を答える。

≡ 《学習の手引き》 ≡

① 設問

問1 「磁石のような力」とはどのような力か、説明しなさい。

答え ものを引きつける力。

解説 「～ような」は、直喩法の比喩表現。直喩とは、前に「たとえば～/あたかも～」などの言葉や、後ろに「～ような/ごとし/～に似ている」などの言葉を添えて、直接二つの事物を比較して喩える表現方法。明喩とも言う。

(例) 「白魚のような指」 白魚は、無色半透明な魚で、火を通すと白くなることから、白く細い指を喩えるのに使う。

補足 「磁石」がどのような力を持っているかを説明すればよい。「磁石」が鉄を引きつけるのと同じように、「矢印」が視線を右の方に引きつけてしまうことを表現している。

問2 「このこと」は何を指しているか、本文中の言葉を用いて説明しなさい。

答え 左を見ようとしても、矢印によって眼差しが右に引きつけられてしまうこと。

解説 指示語の問題。直前の文(段落)から探していく。ここでは、「いくら左を見ようとしても、矢印が放つ不思議な磁石のような力がみなさんの眼差しを右の方にもっていかうとしている」の部分をもとめて答える。この問題は、指示内容を説明することを求められているので、比喩の部分は使わずにまとめる。また、「このこと」部分に当てはめて文意が通じるように、解答は「～こと」という形で答える必要がある。

補足 解答のさらに一文前にある「そして実は説明をした後でさえも、どうしても矢印の指す右の方に目が行きがちになってしまいます」の部分も同趣旨の説明をしている所である。しかし、指示語の内容を答える場合には、基本的に近い方を選んで答える。

また、「このこと」の後には、「矢印」の方が「文字」よりも高い情報訴求力を持っていることを述べている文が続いている。そのため、「このこと」が指す指示内容にも、「矢印」がもつ強制力の強さがわかる表現(ここでは、「左を見ようとしても」)が入ることが望ましい。

問3 「表現要素」とはどのようなものか。本文中に挙げられている例を全て抜き出しなさい。

答え 図形（矢印・正十一角形・正九角形）、写真、文字、音、絵（エスカレーター）。

解説 図①から⑤までの3つの具体例の中で、どのようなものがあるかを確認すればいい。

問4 「反例」とは具体的にどのような例か本文中の言葉を使って説明しなさい。

問題 反例とは具体的にどのような例か本文中の言葉を使って説明しなさい。

答え 文字の方が図形よりも情報訴求力が大きい例

解説 反例は反対の例を表し、何の反対かという点、直前の「図形の方が、文字よりもその力が大きい」ことを指す。ただし、その力は具体的に情報訴求力のことである。

問5 なぜ「正十一角形」と思う人が多いのか、その理由を説明している部分を本文中から抜き出して答えなさい。

答え 図形の情報を読み取るのが面倒で、文字情報を読み取る方が楽なのでそれだけで済ましてしまうから

解説 直後の文に「その間違いに取り立てて気づかず、『正十一角形』と信じる人が多いのは、～からです。」とあるのに注目する。「～から」は理由を説明する表現。本文中から抜き出す問題なので、「～済ましてしまうから」までを答える。ちなみに、抜き出しであることから、句読点は書かない。

問6 空欄【A】に入る接続語として適当なものを答えなさい。

ア) そして イ) しかし ウ) たとえば

答え イ

解説 接続する言葉を補う問題は、直前と直後の文（段落）の要点を明らかにすることが重要。文と文、段落と段落の間をつないで、前後の関係を明らかにする言葉（接続語）には、接続詞の他、副詞なども含まれ、以下のような働き方がある。

①順接：前の文や句が提示した条件が、後の文や句の原因・理由になっていることを表す。「そこで／すると／だから／それで／したがって／～ので」など。

例) 走った。それで、間に合った。

②逆接：前の句・文とは逆の意味をもつ句・文が後に続くことを表す。「けれども／だが／ところが／しかし／～が」など。